

年 組 名前：

# 自然分解するプラ素材

## アマノ製作所 おがくず活用



アマノ製作所が製作した、スプーンとナイフ。原料はおがくずと生分解性プラスチックで、土にかえる  
〓 都留市上谷

開発したプラスチック素材で髣髴化する。は、木の繊維を残した粗いタイプと、粉状の細かいタイプ。2種類のおがくずを使用。生分解性プラスチックと混ぜて加熱し、成型機に流し込んで製造する。同社は市内の木工業者から廃材を引き取り、2019年から開発作業に着手。当初は失敗が続いたが、「おがくずを7、生分解性プラスチックを3程度の割合で配合し、約180度で加熱することで強度が安定することを突き止めた」と話している。

〈深沢澤〉

### 問1

都留市のアマノ製作所は、土の中で自然分解するプラスチック素材を開発しました。おがくずと、何を配合して作りましたか。

クを3程度の割合で配合し、約180度で加熱することで強度が安定することを突き止めた」と話している。

(2022年10月20日付 山梨日日新聞7面)

問2 次の文章の①から④に当てはまる言葉や数字を、答えてください。

『アマノ製作所は、市内の①らから②を引き取り、2019年から開発を始めた。』

当初は、失敗が続いたが、③を7、④を3程度の割合で配合し、約⑤度で⑥することで強度が安定することを突き止め、試作品として、⑦とゴルフ用の⑧を製作した』

- ①..... ②..... ③..... ④.....
- ⑤..... ⑥..... ⑦..... ⑧.....